

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第6回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和3年2月19日（金）14：00～15：00
開催場所	益田市役所 本館3階 大会議室
出席者	<p>【審議会委員】 藤原真砂会長、藤井幸子副会長、森本恭史委員、桂木正則委員、村岡詩織委員、未成弘明委員、吉村里恵委員、石川洋紀委員、草野祐一委員、豊田芳明委員、廣兼重孝委員、中村克也委員、舟橋道恵委員、大賀肇委員、中野純委員</p> <p>【事務局】 益田市 島田政策企画局長、志田原政策企画課長、山本総合戦略室長、岡藤主任主事 コンサル ランドブレイン株式会社（オンラインにより参加）</p> <p>【欠席者】 松本満委員</p>
議題等	・第6次益田市総合振興計画（案）について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1 開会	
2 議題	
○第6次益田市総合振興計画（案）について【資料1、2】	
事務局から説明 ・前回の第5回審議会でもいただいた意見を踏まえ、計画案（資料2）の修正を行った。修正箇所は、資料1のとおり。	
委員	<p>23ページについて、「自助・共助・公助が一体となった」という表現は的を射ていない。</p> <p>5ページについて、「雪舟庭園を築いた」という表現は、庭という言葉に対して適切な言葉であるのか疑問に思うため、再度よく吟味したほうがいい。</p>
事務局	<p>23ページの「自助・共助・公助」について、それぞれが独立して取り組まなければならないが、一方で、これら3つが一緒になって取り組むことが体制の強化につながるものと考え、このような表記とした。</p> <p>5ページについては、当初は「雪舟が訪れた」と表現していたところを見直したものだ。</p>
委員	「庭園を築く」という表現について、観光協会内のパンフレット等では、「作庭」という言葉で統一されている。
事務局	いただいたご意見を基に検討する。
委員	のちほど答申を控えているが、修正についてはどう対応するのか。
事務局	今後、可能な限り修正する。本日は、大筋のところ承認いただきたい。

委員	<p>用語説明に関して、124 ページの「ガーデンツーリズム」の説明文は2段落になっている。その他も含めて、説明文全体について、行頭を1字下げにした方がいいと思う。</p> <p>23 ページの「自助・共助・公助」については、それぞれが役割を果たすことが大事であるため、「それぞれの役割を果たし」という文言を付け加えてはどうか。</p>
委員	<p>「自助・共助・公助」については、お互いが有機的に結びつくというイメージがあるため、もう少し説明を加えても良いかと思う。</p>
委員	<p>一般の市民には、「自助・共助・公助」の意識が薄いと思う。「有機的に結びつく」は、いい言葉だと思う。</p>
事務局	<p>承知した。検討する。</p>
委員	<p>行頭の1字下げについても対応可能か。</p>
事務局	<p>対応する。</p>
委員	<p>市長あいさつ文の中で、「令和22年(2030年)」となっているのは、「令和12年」の誤りではないか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりだ。修正する。</p>
委員	<p>72、85 ページにある「緊急防災放送装置」は、正確には「告知端末」。防災装置用に作られていないので、人に誤解を与える恐れがある。表記を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>担当課と協議する。</p>
委員	<p>38 ページの「現状と課題」の1点目について、「合計特殊出生率が高い」と「出生数の減少」の間に、なぜなのかの理由を付け加えて欲しい。出産可能な世代の人口の減少により出生数が減少しているということが考えられるため、他の自治体の書きぶりを参考に文章を修正していただきたい。</p> <p>用語集に関して、126 ページの「地域おこし協力隊」について、益田市では、集落支援員も多くの人材が活躍されている。本文に出てこないのも難しいかもしれないが、触れることはできないか。</p> <p>また、「ふるさと納税」など、益田市の各種制度や取組について、もう少し詳細に記載いただきたい。</p> <p>128 ページの「メディアコントロール」について、「制限すること」という記載になっているが、制限することは目的ではなく手段だ。目的としては、子どもたちが主体となってメディアの使用をコントロールすることであるため、表現を見直していただきたい。</p>
委員	<p>最近、子どもたちのテレビとゲームの使用時間を調査したが、ゲームよりテレビの方が使用頻度が高いという調査結果が得られた。そのようなことも意識して、表現を考えられたらいいと思う。</p> <p>事務局で、修正に手間取ることがあれば、個別に委員も協力しながら修正対応に当たらせていただく。</p>
委員	<p>「メディアコントロール」については、健康や生活に支障のないようにメディアと付き合うことがコントロールの意味であって、制限することではない。</p>
委員	<p>72 ページについて、第5次と第6次との書きぶりが同じとなっている。</p> <p>また、「現状と課題」では、高速通信環境の整備ができていると書かれているが、「取組方針」においては、「ブロードバンド環境の整備」と表現されているため、矛盾が生じているのではないか。</p>
事務局	<p>光ファイバケーブル網の整備は確かに完了している。しかし、出口となる機器の部分に関して、当時の水準で、100メガバイト程度の対応ができる水準で整備していたが、最近はギガバイトの水準が求められている。現状、その水準には対応できていないため、時代の状況に合わせて整備をするという趣旨で記載している。</p>

委員	自治体としては、光ファイバケーブル網の整備完了がブロードバンド環境の整備といえるのではないか。
事務局	光ファイバケーブル網はできているが、先ほど申し上げたように、今の時代背景に合わせて改良することが必要であるため、更なる整備が必要であるという趣旨で記載している。
委員	情報通信環境自体は網羅されているが、日進月歩で進化する技術に対応する必要がある、という意味だろう。文面が分かりづらいため、もう少し具体的に何をするのかを記載してはいかがかと思う。
委員	増大する情報（データ）に対応するために、パイプそのものを大きくする整備が必要である、ということだろう。そのニュアンスを付け加えていただきたい。
委員	「高速通信を行う環境が整備されている」の後に、「より膨大な情報に耐えるような整備が必要である」といったニュアンスの文言の追加をお願いしたい。
委員	他にご意見はあるか。
(意見なし。承認)	
委員	それでは、市長に答申書をお渡しする。
～休憩～	
3 答申	
4 市長あいさつ	
5 会長及び副会長あいさつ	
6 その他	
7 閉会	